

短期型への応募申請書記載例は、「標準型」に準じるものとする。

実績報告時には、活動内容の分かる写真を日付入りで撮影すること。うち学習活動、体験活動（遠景及び近景）各2枚以上のデータを提出すること。

様式 1

【記載例】

みんなの森づくり県民税関係事業
(森林(もり)の体験活動の支援事業(標準型)) 応募申請書

令和5年〇月〇日

鹿児島県知事 殿

代表者の役職名まで記載すること。

申請人

所在地 鹿児島市鴨池新町〇番×号
団体等名 さつまの里山を守る会
代表者名 会長 薩摩 隆盛 印

下記の活動を実施したいので、「みんなの森づくり県民税関係事業（森林(もり)の体験活動の支援事業(標準型)）」に応募します。

1 事業名(活動名)は、コンパクトに記載すること。

本事業は、県民の森林・林業に対する理解と森林づくりへの参加を促進するために活動を行う団体を支援する事業という趣旨を踏まえ、事業目的を簡潔に記述すること。

1 事業名 里山再生と森林の魅力発信事業

2 事業目的

かつて、里山は人の暮らしと密接な関わりがあり、利用されることにより維持・管理されてきましたが、生活様式の変化や山村地域の過疎化、高齢化等により、適切な管理が困難となっている地域が見られる。
一方で、里山は、都市住民が豊かな自然に触れたり、子ども達が自然を体験する場としての役割が期待されている。
そこで、里山を整備し、森林を守り育てる世代の子どもとその保護者を対象に、森林の働きについて学ぶ場として活用し、持続的な森林づくりへの参加を促進する。

3 事業内容

事業内容については、これまでの活動(事業実績)と、マンネリ化しないよう計画内容を工夫すること。

(1) 学習活動、(2) 体験活動の両方取り組む必要がある。

- 学習及び体験活動については、相互に連携して、併せて実施することとし、それぞれの活動内容がわかるよう区分して、具体的に記載すること。
- 施設整備を行う場合は、施設を活用した学習・体験活動の計画を記載すること。

区分	森林・林業の学習活動	森林の整備・保全等の体験活動
内容	① 森林の多様性や自然の仕組み 森林インストラクターを講師に招き、紙芝居形式で楽しく学ぶ。 ② 森林の役割 森林の公益的機能を学ぶ。 ③ 森林資源の循環利用 木の良さや利用する意義を学ぶ。	① 里山散策、森の生き物観察 鹿児島市〇〇地区の里山林を散策し、そこに生きる生き物を知る。 ② 植栽活動・遊歩道整備 イロハモミジ、ヤマザクラ(計600本)を植栽し、遊歩道整備を行う。 ③ 間伐材を利用した木工教室 鉢置き台の製作を行う。
対象者	〇〇地区子供会、スポーツ少年団、〇〇緑の少年団、保護者、協賛企業、〇〇地区住民、一般	
活動場所	① 鹿児島市〇〇地区公民館 ② 鹿児島市〇〇地区の里山林(鹿児島市〇〇町) 別紙に、市町村広域図等に活動場所、現地の状況写真を記載すること。	鹿児島市〇〇地区の里山林(鹿児島市〇〇町) 整備した施設を活用した活動であることが分かるように記載すること。
実施面積		森林整備: 2ha(植栽0.5ha, 間伐1.5ha) 遊歩道整備: 100m

実績報告時には、公共施設を利用する場合は、使用許可書の写し
公民館等を利用する場合は、公民館長(自治会長)の承諾書
施設使用料金が発生する場合は、根拠(公民館利用規程など)
施設外での活動の場合は、現地確認(航空写真、住宅地図など)ができる資料を添付すること。

- ・募集チラシの配布部数は、募集人数を考慮の上、必要最低限の数量とすること。
- ・実績報告時には、チラシ制作・印刷会社の実在が確認できる資料を添付のこと。
- ・チラシの配布先一覧及び制作チラシを添付すること。

※ 別紙にて位置図、現地の状況（写真）を添付

4 参加者の募集方法（該当する方法の番号に○印を記載する。）

- (1) 募集チラシ（配布数：○○部 配布先：近隣の幼稚園、小学校）
- (2) SNS（ホームページ、フェイスブック、その他：）
- (3) 新聞や情報誌への掲載（掲載予定：地域コミュニティ情報誌など）
- (4) その他（市広報誌など）

5 企業と連携した活動について

企業と連携して取り組み、500人以上の参加者が見込まれる活動については、補助限度額が200万円になる。

また、企業と連携した活動の場合は、企業名、活動に対する企業の関わり方を具体的に記述すること。

●企業との連携の有無：あり・なし

- (1) 連携企業名：○○建設会社、○○レクリエーション企画会社
- (2) 連携内容：植栽予定地の整備（除伐、地拵え、遊歩道の整備）
学習・体験学習のプログラム作成
社員の植栽活動への参加

6 森林・林業と関わりのない新たな参加者やこれまで募集対象としていなかった団体等呼び込む企画について

※初めて申請する団体についても記載すること。

日頃、森林・林業と関わりの無い方や団体、これまで募集対象としていなかった方をどのように呼び込むか具体的に記述すること。

活動フィールド近隣の幼稚園や小学校及びスポーツ少年団などへ参加を呼びかけるとともに、植栽活動においては、近隣の公民館等の地域コミュニティ団体へ参加を呼びかけ、地域の山を地域主体で整備していくという意識の醸成につなげる。

(別紙) 活動場所及び現地の状況の写真

【※注意 参考標記です】



学習①, ②, ③及び体験③ 県民交流センター

体験活動①, ② 城山

写真

(現地の状況写真)

写真

(これまでの活動状況)

等々

事業計画の内容が分かるよう、簡潔に記載すること。

7 事業実施スケジュール

年月日	事業計画内容	参加者数
令和5年 9月	活動プログラムの調整 フェイスブックへの掲載 チラシの作成・配布	対象者別に参加者数を記載すること。
9月	活動下準備（除伐，下刈り，遊歩道の整備）	外部作業員3人 スタッフ5人
10月	学習（森林の多様性や自然の仕組み） 体験（里山散策・生き物観察）	100人 （園児・小学生50人，保護者・一般50人）
10月	活動下準備（植栽予定地の整地）	外部作業員3人 スタッフ5人
11月	学習（森林の役割） 体験（植栽活動）	250人 （小・中学生100人，保護者50人，企業・一般100人）
11月	活動下準備（間伐，除伐）	外部作業員3人 スタッフ5人
12月	学習（森林資源の循環活用） 体験（間伐材を利用した木工教室）	100人 （小学生50人，保護者・一般50人）
合計	・学習活動：3回 ・体験活動：3回	450人

実績報告時には、参加者名簿一覧を添付すること。

8 経費内訳書（様式2）

9 団体等の概要（様式3）

様式2 (※必要に応じ増頁することとし、別添資料がある場合は添付すること。)

経 費 内 訳 書

<収入の部>

区 分	金 額	
県補助金	550,000	
自己資金	50,000	50,000円 ○○建設会社協賛金
その他 (参加者負担金)	100,000	400円×250人(昼食代)
計	700,000	

当事業により申請する補助金額を記載すること。

- 補助対象経費の50万円までの部分については10/10、50万円を超える部分については、1/2以内
- 企業と連携した取組、かつ500人以上の参加者が見込まれる活動については、上限200万円
- (例)500千円+((600千円-500千円)÷2)=550,000円

他の機関等からの協賛金、助成金等の予定がある場合は、その内訳を記載すること。

参加費等を徴収する予定がある場合は、その内訳を記載すること。

※ 県補助金が50万円を超える部分については、その額の同額以上の自己資金又はその他(参加者負担金等)が必要です。

支出の内容や数量の計上は、できる限り具体的に記載すること。
募集要項で上限額が定められている項目については、上限額を参考に記載すること。

<支出の部>

項 目	費 目	内 容	数 量	単 価	金 額
学習活動	賃金	スタッフ賃金(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○
	報償費	外部講師謝金(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○
	旅費	外部講師旅費(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○
	需用費	消耗品費 ・教材費	○○セット	○,○○○	○,○○○
	役務費	印刷製本費 ・資料	1式	○,○○○	○,○○○
小 計 ①					200,000
体験活動	賃金	【会場下準備】 外部作業員賃金(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○
		スタッフ賃金(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○
	報償費	木工製作外部講師(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○
	需用費	【植栽活動】 イロハモミジ苗木	○○本	○○○	○,○○○
		ヤマザクラ苗木	○○本	○○○	○,○○○

賃金及び講師謝金は、
会員か外部か分かるよう
に記載すること。

体験活動	需用費	固形肥料	〇〇 個	〇〇	〇,〇〇〇
		竹支柱	〇〇 本	〇〇〇	〇,〇〇〇
		【木工教室】			
		木工工作キット	〇〇 セット	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		【遊歩道整備】			
		階段用丸太	〇〇 本	〇〇〇	〇,〇〇〇
	賃借料	燃料費（ガソリン）	1 式	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		チェーンソー	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		刈り払い機	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		トラック（2 t）	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		軽トラック	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		バス	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
保険料	動力使用	〇〇 人	〇〇〇	〇,〇〇〇	
	その他	〇〇 人	〇〇〇	〇,〇〇〇	
小 計 ②					300,000
参加者募集 ・広報等	役務費	【印刷製本費】			
		・チラシ(〇〇校区, 〇〇戸)	〇〇 枚	〇〇	〇,〇〇〇
		【通信運搬費】			
		・情報誌掲載料	1 式	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
小 計 ③					100,000
補助対象経費 ①+②+③					600,000
補助対象外経費	食糧費	植栽活動に伴う 昼食代	250 人	400	100,000
補助対象外経費 ④					100,000
合 計 ①+②+③+④					700,000

九州運輸局公示の運賃, 料金額の範囲等確認すること。

単価の根拠となるカタログ等があれば添付すること。

チラシの配布先及び概ねの配布数を記載すること。

食糧費は補助対象にならないが、活動上必要と認められる食材費は需用費として補助対象となる。(参加者への弁当提供やスタッフ打ち合わせでの飲食費は対象外)

「体験活動」欄に必要性が分かるように記載すること。

(例: 森林で集めた食材を調理するために必要な油や調味料等)

体験活動を実施される際には、必ず保険に加入すること。

様式 3

団 体 等 の 概 要

団 体 等 名	さつまの里山を守る会	
代表者 役名・氏名	会長 薩摩 隆盛	
所 在 地	〒890-8577 鹿児島市鴨池新町〇番×号	
計 画 作 成 者 住 所 氏 名 連 絡 先	〒890-8577 鹿児島市鴨池新町〇番×号 鹿児島 太郎 099-286-**** (携帯番号：080-△△△△-××××) e-mail satoyama-satuma@〇〇.jp	応募申請書の内容が確認できる担当者 と連絡先を記載すること。 メールアドレスがない場合は、FAXでも可。
設 立 年 月 日	平成23年4月1日	内容確認や各種情報提供のため、メールアドレス はできるだけ記載すること。
団 体 の 構 成 員 数	50人	
設 立 目 的	森林を守り育てる世代の子どもたちが、森林の働きについて学ぶ場として荒廃した里山を整備し、森林環境への意識を高め、持続的な森林づくりへの参加を促す。	
活 動 実 績	※活動実績には、団体としてのこれまでの森林体験活動（自力・補助）を記載するものとし、取組の成果や森林体験活動に対する考え方についても可能な限り、併せて記載すること。 なお、設立以降の活動内容や年間活動などの実績が分かる既存資料（総会資料やHP）があれば、換えることができる。	
本事業の実施回数 (実施年度)	3回（平成28、29、30年度）	本事業の補助を受けて実施した年度を記載すること。
今回工夫や改善 を行った点	幼少期から森林に親しんでもらうことを目的に、近隣の幼稚園、保育園の園児や小学校の低学年を対象とした里山散策と生き物観察を計画	※過去に本事業を実施した団体は、必ず記載すること。
他団体等との連携	※当事業の実施において、協力又は協賛等する団体・企業等を記載すること。 〔〇〇学校（実施協力）、〇〇会社（協賛）など〕	
今 後 の 展 開	継 続 した 取 組	身近な里山保全活動を地域住民と一体となって継続していくとともに、次代を担う子ども達へ森林の大切さを学習・体験活動を通して伝える活動を続ける。
	新 た な 取 組	〇〇川下流や海岸沿いの地域住民との交流を図り、一体となった活動を行うとともに、都市部からの参加者を募り、森林・林業に親しんでもらい、森林の役割の重要性を理解してもらう取組を展開していく。
添 付 書 類	会則・会員名簿、団体の規約 ※団体の概要が分かる資料を添付すること。	